

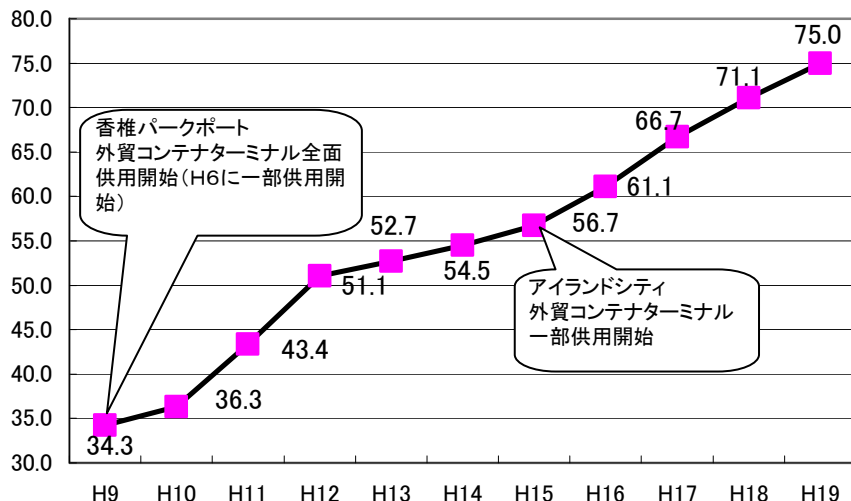
☆ TOPICS

○平成19年国際海上コンテナ取扱個数 74万9千839TEU(前年比5.5%増)、過去最高を更新

輸移出は、「ゴム製品」(同106.2%)や「完成自動車」(対前年比231.4%)等の増加により、約2.1万TEU増加した。輸移入は、「電気機械」(同159.4%)や「家具装備品」(同112.8%)等の増加により、約1.7万TEU増加した。

国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位:万TEU)



※ TEU(Twenty-foot Equivalent Unit) :
コンテナを数えるときの単位で、
20フィート換算個数のこと。
20フィートコンテナ1個が1TEU、
40フィートコンテナ1個が2TEU。

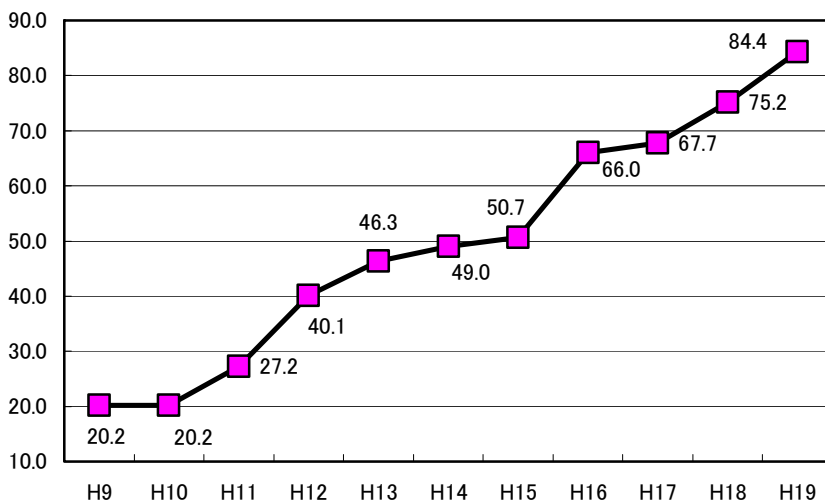
○平成19年外国航路船舶乗降人員 84万3,654人(前年比12.2%増)、過去最高を更新

博多港の外国航路乗降人員は、平成5年以降全国第1位を記録し続けており、平成19年は観光旅行等で日本を訪れる韓国人旅行者が引き続き増加し、総数84万3,654人と過去最高を更新した。

(参考:平成19年実績では空港の国際線旅客者数と比較しても全国第6位)

外国航路船舶乗降人員数の推移

(単位:万人)



H 2. 12	かめりあ就航(～H16. 6)
H 3. 3	ビートル二世就航
H10. 5	ジェビ就航
H12. 3	スタークルーズ就航(～H13. 9)
H13. 4	ビートル三世就航
H14. 2	コビー就航
H14. 9	コビーⅢ就航
H15. 7	ジェビ2就航
H16. 3	コビーV就航
H16. 7	ニューかめりあ就航

平成19年港湾統計概要

1. 入港船舶

入港船舶数は35,740隻(前年比98.2%)、総トン数は5,219万総トン(同95.6%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数5,772隻(同96.6%)・総トン数3,211万総トン(同99.8%)、内航は隻数29,968隻(同98.5%)・総トン数2,007万総トン(同89.6%)であった。図-1、表-1参照

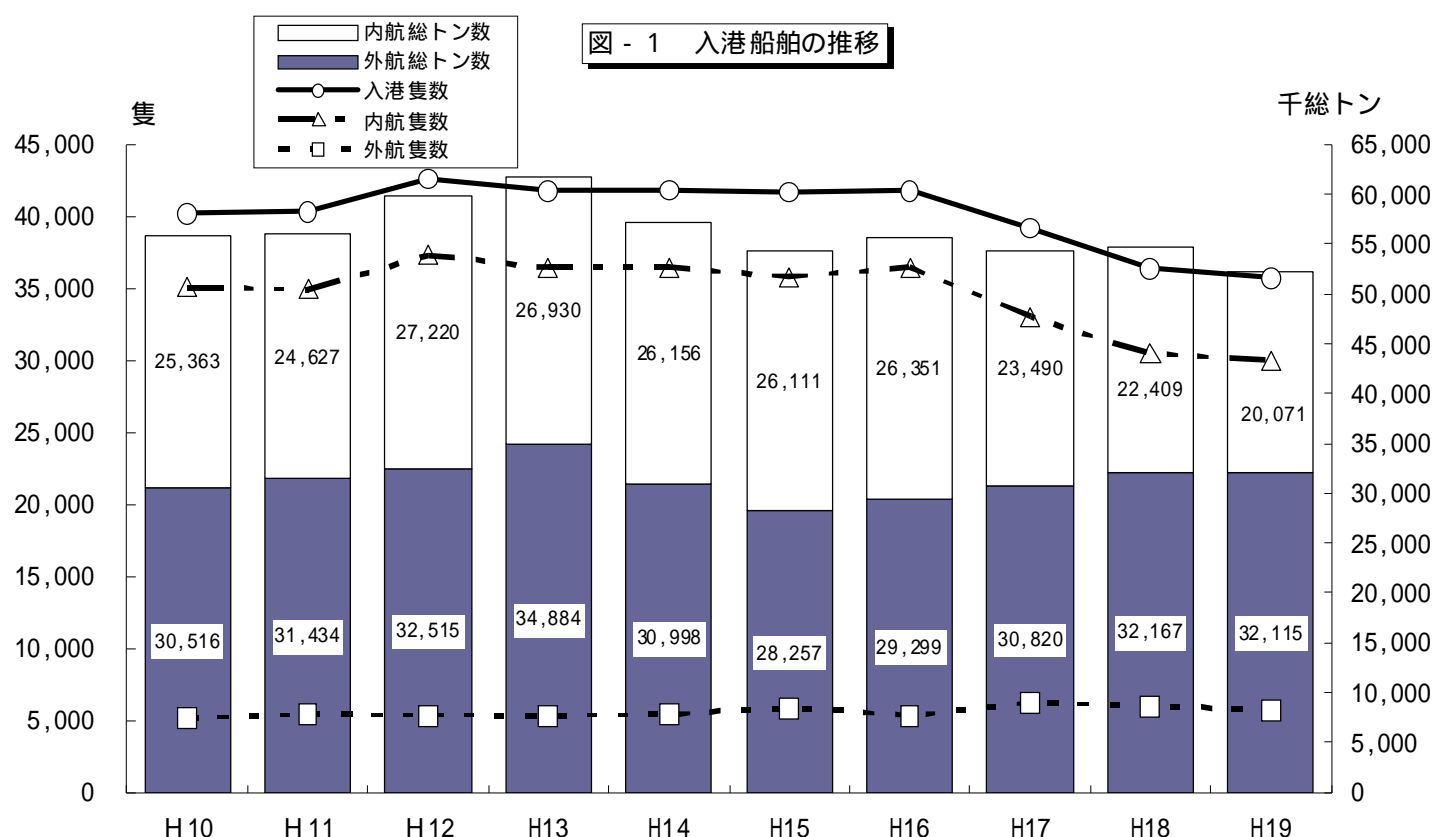


表-1 入港船舶の推移

(単位: 隻、総トン)

区分	平成19年		平成18年		平成17年		平成16年		平成15年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外航隻数	5,772	96.6%	5,975	96.2%	6,213	101.3%	6,135	103.6%	5,923
外航総トン数	32,114,852	99.8%	32,167,011	104.4%	30,819,719	105.2%	29,298,553	103.7%	28,256,948
内航隻数	29,968	98.5%	30,412	92.1%	33,012	94.1%	35,073	98.0%	35,785
内航総トン数	20,070,649	89.6%	22,408,515	95.4%	23,489,554	89.1%	26,350,503	100.9%	26,110,952
総隻数	35,740	98.2%	36,387	92.8%	39,225	95.2%	41,208	98.8%	41,708
総トン数	52,185,501	95.6%	54,575,526	100.5%	54,309,273	97.6%	55,649,056	102.4%	54,367,900

2. 海上出入貨物

海上出入貨物量は、外国貿易 1,457 万トン（前年比 109.2%）内国貿易 1,565 万トン（同 98.8%）であり、総貨物量は 3,022 万トン（同 103.5%）であった。出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 29.2%・883 万トン、輸移入は 70.8%・2,139 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。なお、フェリー（自動車航送船）による航走車輛トン数が平成 18 年と比べ減少したのは、フェリー航路のうち、博多-直江津航路及び、博多-那覇航路が廃止となったことが主な要因であった。図 - 2、表 - 2、表 - 3 参照

図 - 2 海上出入貨物量の推移

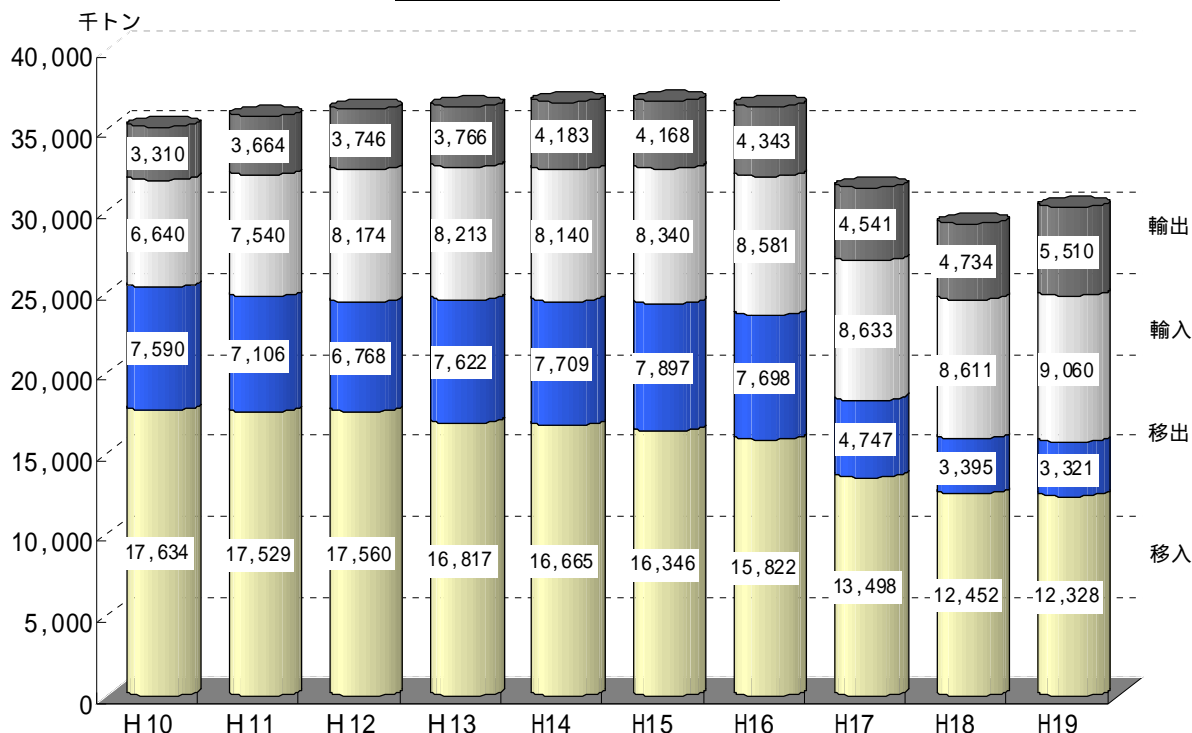


表 - 2 海上出入貨物量の推移

(単位: トン)

区分		平成17年		平成16年		平成15年		平成14年		平成13年
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外国貿易	輸出	5,509,580	116.4%	4,734,296	104.3%	4,540,980	104.5%	4,343,410	104.2%	4,167,881
	輸入	9,059,731	105.2%	8,611,082	99.7%	8,632,775	100.6%	8,580,944	102.9%	8,340,160
	計	14,569,311	109.2%	13,345,378	101.3%	13,173,755	101.9%	12,924,354	103.3%	12,508,041
内国貿易	移出	3,321,488	97.8%	3,394,870	71.5%	4,747,238	61.7%	7,698,220	97.5%	7,897,381
	移入	12,328,184	99.0%	12,452,324	92.3%	13,498,353	85.3%	15,821,501	96.8%	16,345,751
	計	15,649,672	98.8%	15,847,194	86.9%	18,245,591	77.6%	23,519,721	97.0%	24,243,132
総数	輸移出	8,831,068	108.6%	8,129,166	87.5%	9,288,218	77.1%	12,041,630	99.8%	12,065,262
	輸移入	21,387,915	101.5%	21,063,406	95.2%	22,131,128	90.7%	24,402,445	98.9%	24,685,911
	計	30,218,983	103.5%	29,192,572	92.9%	31,419,346	86.2%	36,444,075	99.2%	36,751,173

フェリー（自動車航送船）による航送車輛トン数は含まない。

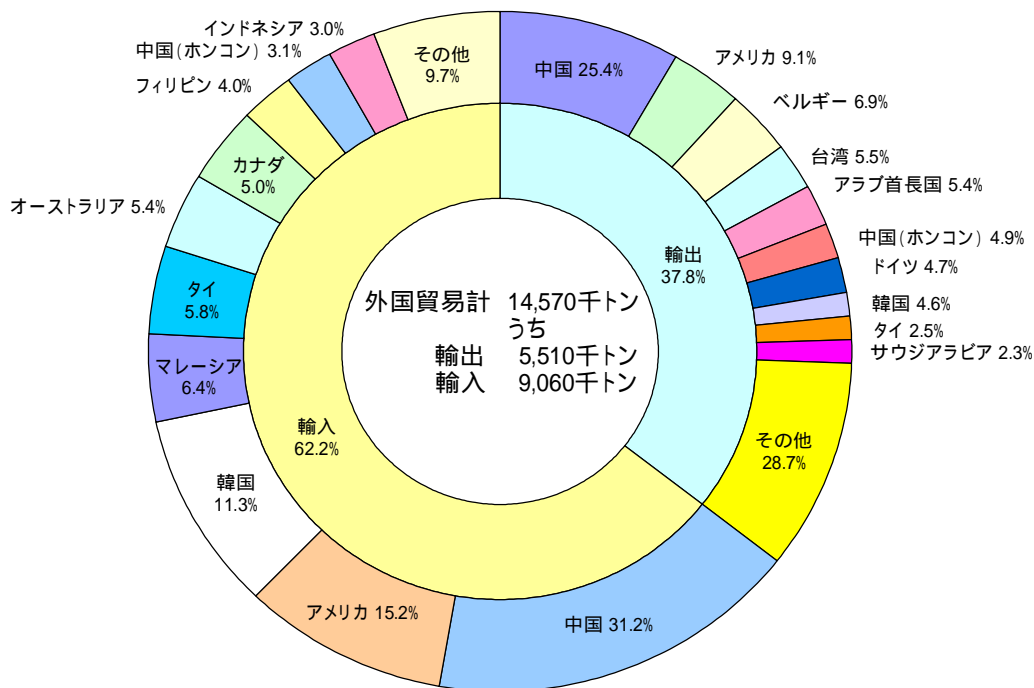
表 - 3 フェリー（自動車航送船）による航送車輛トン数の推移

(単位: トン)

区分	平成19年		平成18年		平成17年		平成16年		平成15年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
移出	1,027,600	40.8%	2,519,865	99.5%	2,533,120	97.7%	2,593,835	99.8%	2,598,900
移入	999,260	39.4%	2,537,385	98.9%	2,566,880	94.7%	2,711,345	98.3%	2,757,090
計	2,026,860	40.1%	5,057,250	99.2%	5,100,000	96.1%	5,305,180	99.1%	5,355,990

2 - 1 . 外国貿易

図 - 3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2 - 1 - 1 . 輸出

(1) 貨物量

輸出貨物量は5,510千トン(前年比116.4%)であり、外国貿易の37.8%を占めている。

図 - 3、表 - 2 参照

(2) 品種別

輸出貨物量5,510千トンのうち「ゴム製品」が2,132千トン(38.7%)、「完成自動車」が905千トン(16.4%)、「再利用資材」が539千トン(9.8%)であった。図 - 4・5、表 - 4 参照

図 - 4 輸出 5,510千トン

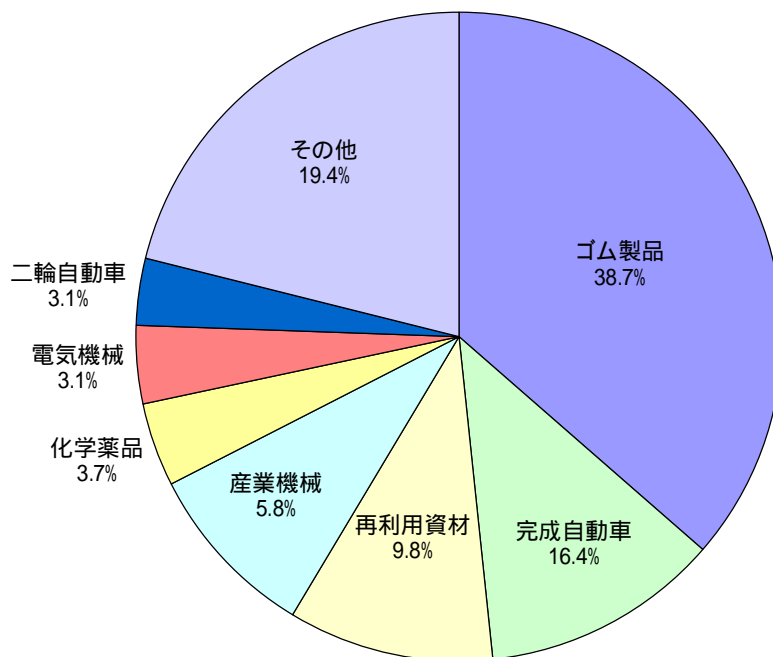
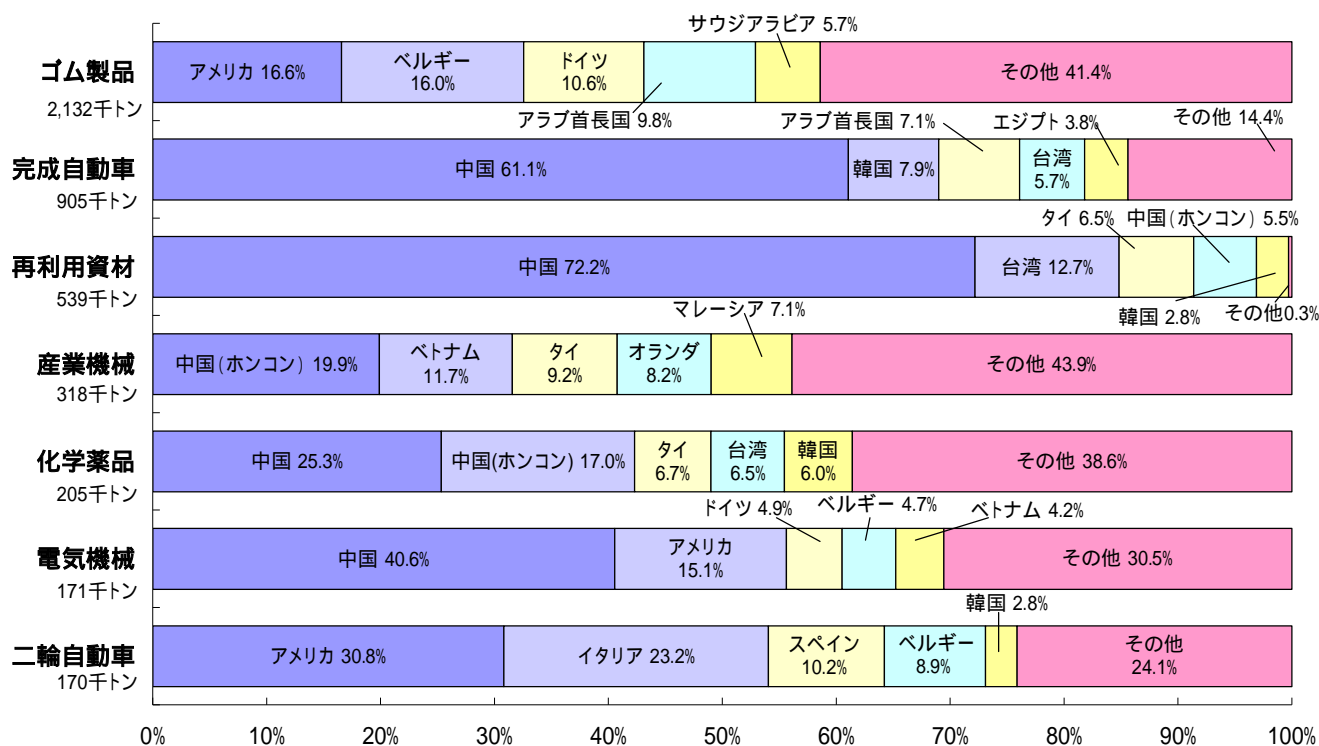


表 - 4 輸出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成19年	構成比	平成18年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	2,132,128	38.7%	1,725,255	36.4%	406,873	123.6%
2	完成自動車	904,932	16.4%	483,264	10.2%	421,668	187.3%
3	再利用資材	539,042	9.8%	565,702	11.9%	26,660	95.3%
4	産業機械	317,819	5.8%	422,146	8.9%	104,327	75.3%
5	化学薬品	205,282	3.7%	192,975	4.1%	12,307	106.4%
6	電気機械	170,764	3.1%	183,320	3.9%	12,556	93.2%
7	二輪自動車	170,219	3.1%	120,991	2.6%	49,228	140.7%
	上記以外その他	1,069,394	19.4%	1,040,643	22.0%	28,751	102.8%
	合 計	5,509,580	100.0%	4,734,296	100.0%	775,284	116.4%

図 - 5 輸出上位7品種の相手国・地域



（3）主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が1,400千トン（25.4%）、アメリカが504千トン（9.1%）、ベルギーが380千トン（6.9%）、以下台湾、アラブ首長国と続いている。 図 - 3、表 - 5 参照

表 - 5 輸出国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最終船卸国・地域名	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	中国	1,400,043	25.4%	1,101,818	23.3%	298,225	127.1%
2	アメリカ	503,944	9.1%	469,472	9.9%	34,472	107.3%
3	ベルギー	380,017	6.9%	215,065	4.5%	164,952	176.7%
4	台湾	302,808	5.5%	229,603	4.8%	73,205	131.9%
5	アラブ首長国	299,964	5.4%	272,706	5.8%	27,258	110.0%
6	中国（ホンコン）	269,580	4.9%	406,409	8.6%	136,829	66.3%
7	ドイツ	260,579	4.7%	146,956	3.1%	113,623	177.3%
8	韓国	250,982	4.6%	277,674	5.9%	26,692	90.4%
9	タイ	136,376	2.5%	159,122	3.4%	22,746	85.7%
10	サウジアラビア	124,345	2.3%	130,711	2.8%	6,366	95.1%
	上記以外その他	1,580,942	28.7%	1,324,760	28.0%	256,182	119.3%
	合計	5,509,580	100.0%	4,734,296	100.0%	193,316	116.4%

2 - 1 - 2 . 輸入

（1）貨物量

輸入貨物量は9,060トン（前年比 105.2%）であり、外国貿易の62.2%を占めている。

図 - 3、表 - 2 参照

（2）品種別

輸入貨物量 9,060千トンのうち「家具装備品」が959千トン（10.6%）、「動植物性製造飼肥料」が829千トン（9.2%）、「麦」が720千トン（7.9%）であった。図 - 6・7、表 - 6 参照

図 - 6 輸入 9,060千トン

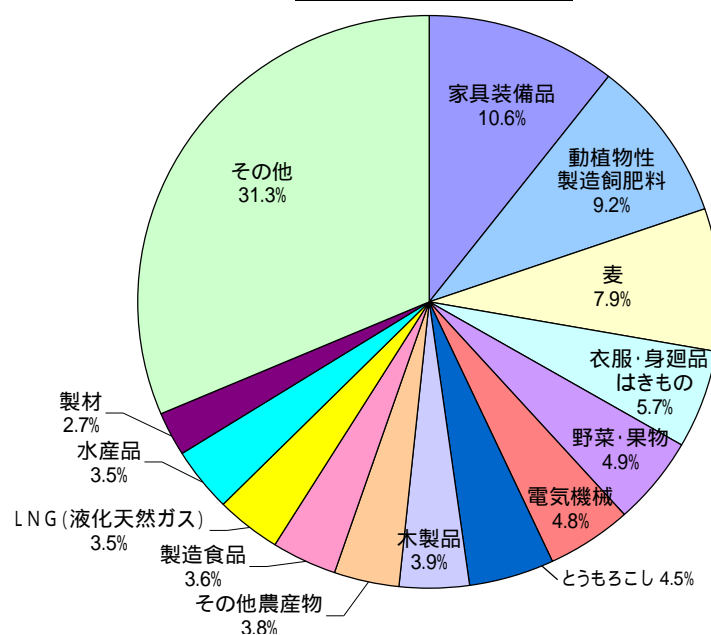
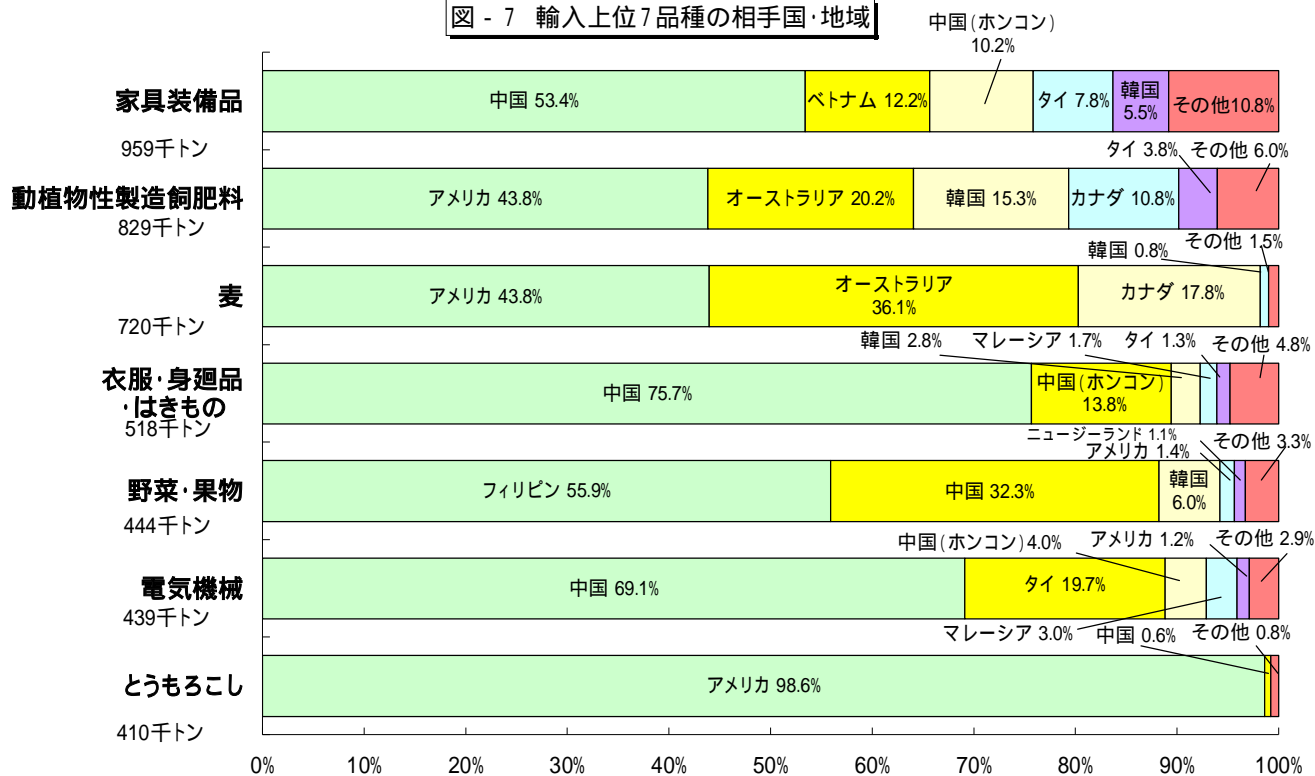


表 - 6 輸入 品種別取扱量 (上位7品種)

(単位:トン)

順位	品 種	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	958,602	10.6%	673,078	7.8%	285,524	142.4%
2	動植物性製造飼肥料	829,282	9.2%	864,656	10.0%	35,374	95.9%
3	麦	719,873	7.9%	735,695	8.5%	15,822	97.8%
4	衣服・身廻品・はきもの	518,195	5.7%	413,011	4.8%	105,184	125.5%
5	野菜・果物	444,366	4.9%	438,138	5.1%	6,228	101.4%
6	電気機械	439,159	4.8%	224,900	2.6%	214,259	195.3%
7	とうもろこし	409,560	4.5%	445,119	5.2%	35,559	92.0%
	上記以外その他	4,740,694	52.3%	4,816,485	55.9%	75,791	98.4%
	合 計	9,059,731	100.0%	8,611,082	100.0%	448,649	105.2%

図 - 7 輸入上位7品種の相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が2,828千トン(31.2%)、アメリカが1,376千トン(15.2%)、韓国が1,024千トン(11.3%)以下マレーシア、タイと続いている。 図 - 3、表 - 7参照

表 - 7 輸入 国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最初船積国・地域名	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	中国	2,828,434	31.2%	2,310,428	26.8%	518,006	122.4%
2	アメリカ	1,376,069	15.2%	1,261,719	14.7%	114,350	109.1%
3	韓国	1,024,228	11.3%	1,250,747	14.5%	226,519	81.9%
4	マレーシア	576,628	6.4%	579,341	6.7%	2,713	99.5%
5	タイ	521,333	5.8%	461,293	5.4%	60,040	113.0%
6	オーストラリア	487,286	5.4%	510,716	5.9%	23,430	95.4%
7	カナダ	454,041	5.0%	527,825	6.1%	73,784	86.0%
8	フィリピン	365,790	4.0%	343,463	4.0%	22,327	106.5%
9	中国（ホンコン）	276,812	3.1%	305,155	3.5%	28,343	90.7%
10	インドネシア	267,811	3.0%	284,637	3.3%	16,826	94.1%
	上記以外その他	881,299	9.7%	775,758	9.0%	105,541	113.6%
	合計	9,059,731	100.0%	8,611,082	100.0%	448,649	105.2%

2 - 2 . 内国貿易

図 - 8 内国貿易(移出入相手都道府県別)

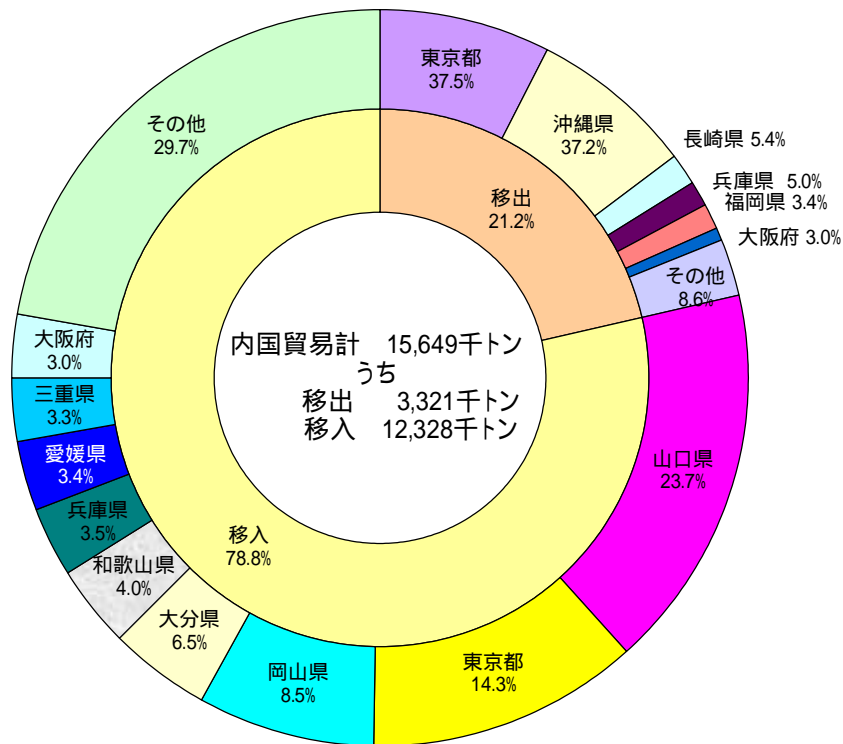


図 - 8・10・12及び表 - 9・11については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。

2 - 2 - 1 . 移出

(1) 貨物量

移出貨物量は3,321千トン（前年比97.8%）であり、内国貿易の21.2%を占めている。

表 - 2、図 - 8 参照

(2) 品種別

移出貨物量 3,321千トンのうち「取合せ品」が820千トン(24.7%)、「その他輸送機械」が474千トン(14.3%)、「完成自動車」が369千トン(11.1%)であった。図 - 9・10、表 - 8 参照

図 - 9 移出 3,321千トン

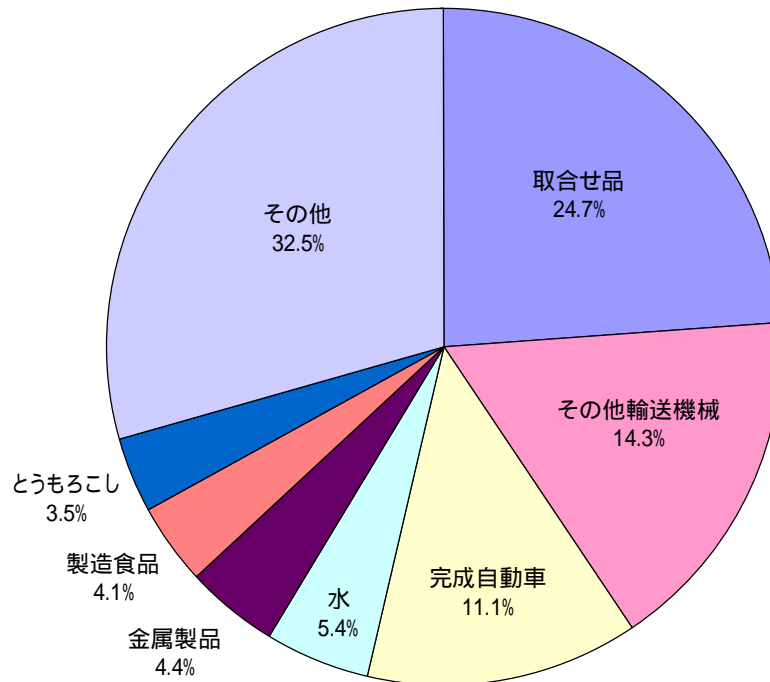
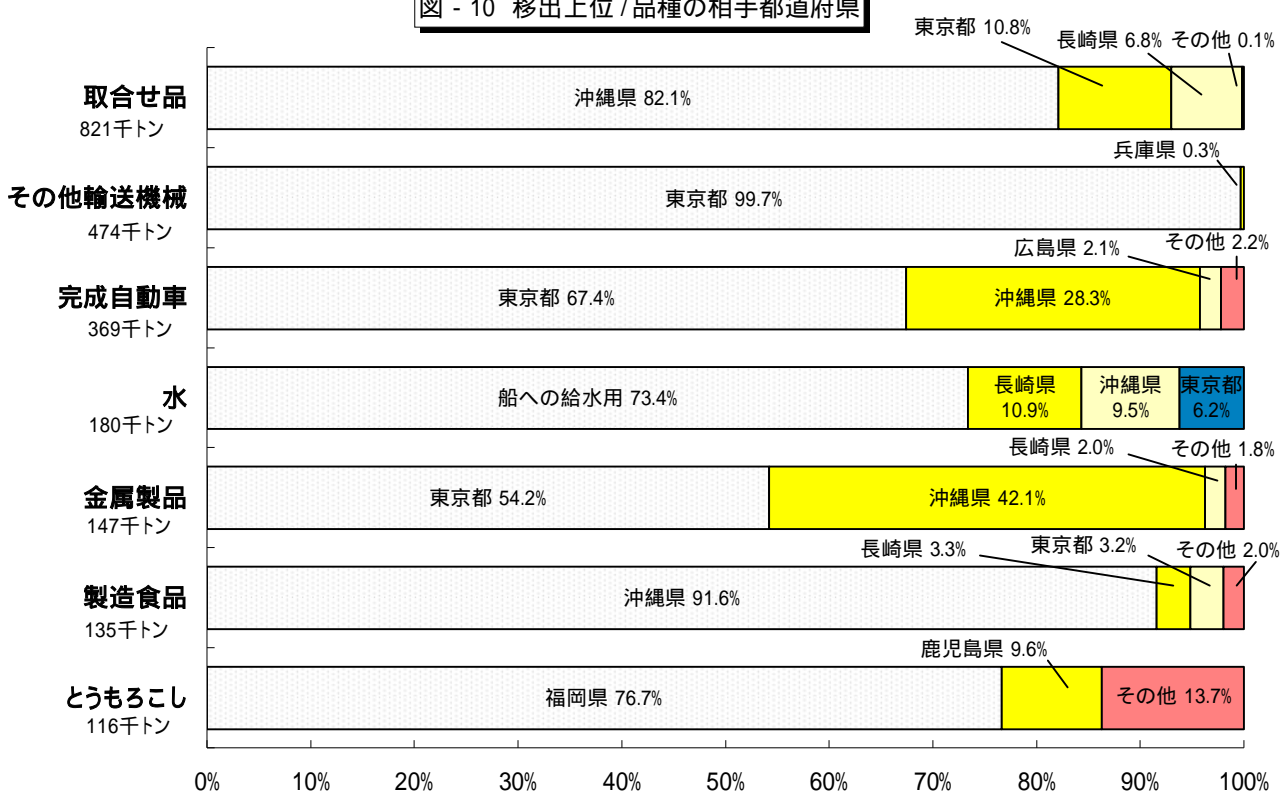


表 - 8 移出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	取合せ品	820,770	24.7%	807,339	23.8%	13,431	101.7%
2	その他輸送機械	473,800	14.3%	440,936	13.0%	32,864	107.5%
3	完成自動車	369,152	11.1%	569,164	16.8%	200,012	64.9%
4	水	179,517	5.4%	175,810	5.2%	3,707	102.1%
5	金属製品	146,751	4.4%	142,997	4.2%	3,754	102.6%
6	製造食品	135,223	4.1%	137,551	4.1%	2,328	98.3%
7	とうもろこし	116,132	3.5%	121,442	3.6%	5,310	95.6%
	上記以外その他	1,080,143	32.5%	999,631	29.4%	80,512	108.1%
	合 計	3,321,488	100.0%	3,394,870	100.0%	73,382	97.8%

図 - 10 移出上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移出相手都道府県別では、東京都が 1,245 千トン (37.5%)、沖縄県が 1,234 千トン (37.2%)、長崎県が 178 千トン (5.4%) 以下兵庫県、福岡県と続いている。 図 - 8、表 - 9 参照

表 - 9 移出 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: トン)

順位	仕向都道府県名	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	東京都	1,245,299	37.5%	1,152,086	33.9%	93,213	108.1%
2	沖縄県	1,234,019	37.2%	1,183,405	34.9%	50,614	104.3%
3	長崎県	178,310	5.4%	196,591	5.8%	18,281	90.7%
4	兵庫県	164,885	5.0%	169,868	5.0%	4,983	97.1%
5	福岡県	111,726	3.4%	111,767	3.3%	41	100.0%
6	大阪府	99,999	3.0%	92,016	2.7%	7,983	108.7%
7	愛媛県	24,728	0.7%	43,160	1.3%	18,432	57.3%
	上記以外その他	262,522	7.9%	445,977	13.1%	183,455	58.9%
		3,321,488	100.0%	3,394,870	100.0%	73,382	97.8%

2 - 2 - 2 . 移入

(1) 貨物量

移入貨物量は 12,328 千トン（前年比 99.0%）であり、内国貿易の 78.8%を占めている。

表 - 2、図 - 8 参照

(2) 品種別

移入貨物量 12,328 千トンのうち「石油製品」が 4,352 千トン(35.3%)、「砂利・砂」が 1,993 千トン(16.2%)、「完成自動車」が 1,795 千トン(14.6%)であった。 図 - 11・12、表 - 10 参照

図 - 11 移入 12,328千トン

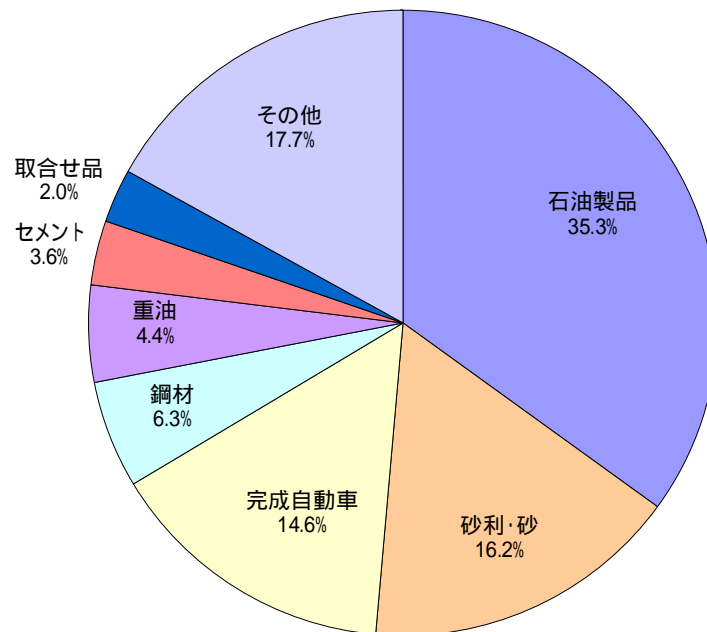
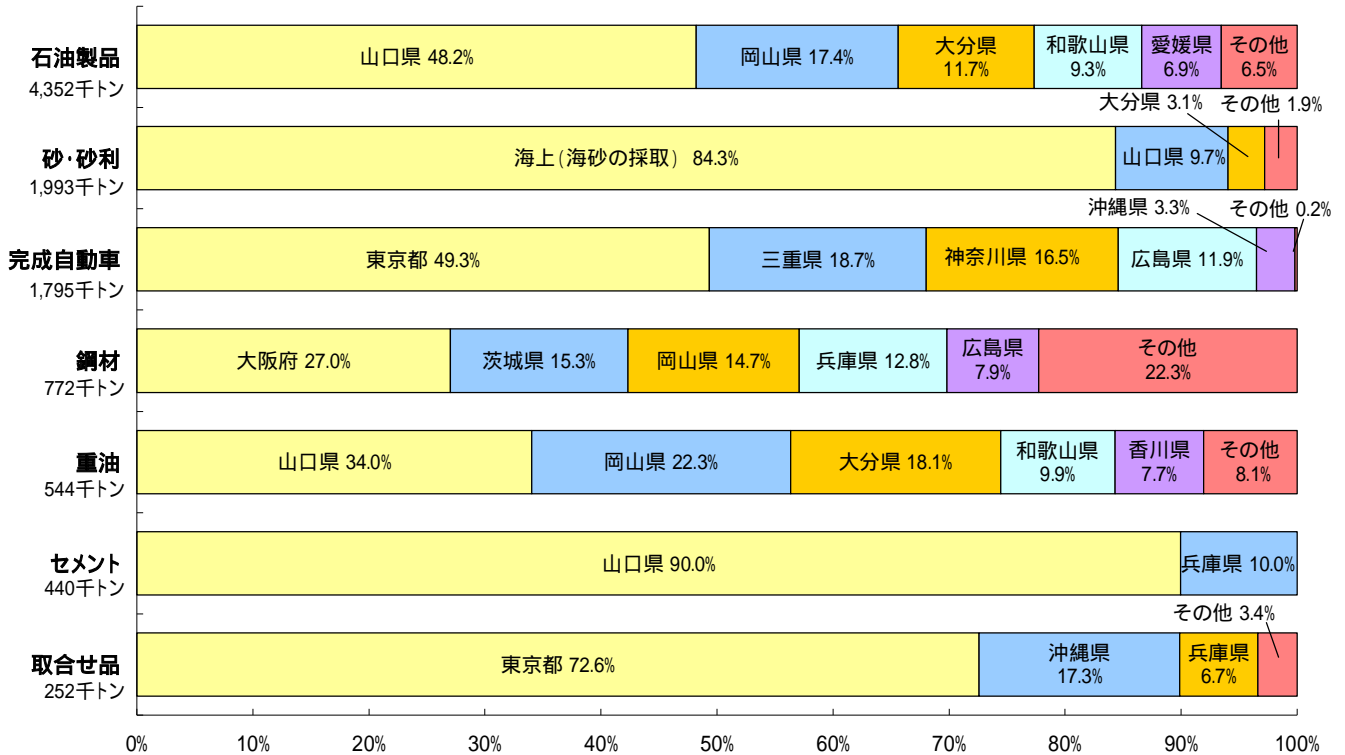


表 - 10 移入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	石油製品	4,351,512	35.3%	4,358,702	35.0%	7,190	99.8%
2	砂利・砂	1,992,860	16.2%	1,839,704	14.8%	153,156	108.3%
3	完成自動車	1,794,536	14.6%	2,053,442	16.5%	258,906	87.4%
4	鋼材	772,416	6.3%	710,912	5.7%	61,504	108.7%
5	重油	544,234	4.4%	633,635	5.1%	89,401	85.9%
6	セメント	440,323	3.6%	389,778	3.1%	50,545	113.0%
7	取合せ品	252,310	2.0%	347,553	2.8%	95,243	72.6%
	上記以外その他	2,179,541	17.7%	2,118,598	17.0%	60,943	102.9%
	合 計	12,327,732	100.0%	12,452,324	100.0%	124,592	99.0%

図 - 12 移入上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移入相手都道府県別では、山口県が 2,926 千トン (23.7%)、東京都が 1,764 千トン (14.3%)、岡山県が 1,050 千トン (8.5%) 以下大分県、和歌山県と続いている。 図 - 8、表 - 11 参照

表 - 9 移入 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: トン)

順位	仕向都道府県名	平成19年	構成比	平成18年	構成比	増減	前年比
1	山口県	2,925,950	23.7%	2,670,971	21.4%	254,979	19.5%
2	東京都	1,763,507	14.3%	1,898,599	15.2%	135,092	15.3%
3	岡山県	1,050,260	8.5%	1,245,497	10.0%	195,237	8.5%
4	大分県	806,000	6.5%	677,079	5.4%	128,921	5.7%
5	和歌山県	495,306	4.0%	510,684	4.1%	15,378	4.3%
6	兵庫県	436,680	3.5%	464,461	3.7%	27,781	3.2%
7	愛媛県	414,892	3.4%	465,078	3.7%	50,186	4.1%
	上記以外その他	4,435,589	36.0%	4,519,955	36.3%	84,366	39.3%
	合計	12,328,184	100.0%	12,452,324	100.0%	124,140	100.0%

3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、749,839TEU（前年比 105.5%）であった。なお、ダイレクトコンテナは702,078TEU（同 107.7%）、フィーダーコンテナは47,761TEU（同 81.2%）であった。

図 - 13、表 - 12 参照

図 - 13 国際海上コンテナ取扱個数の推移

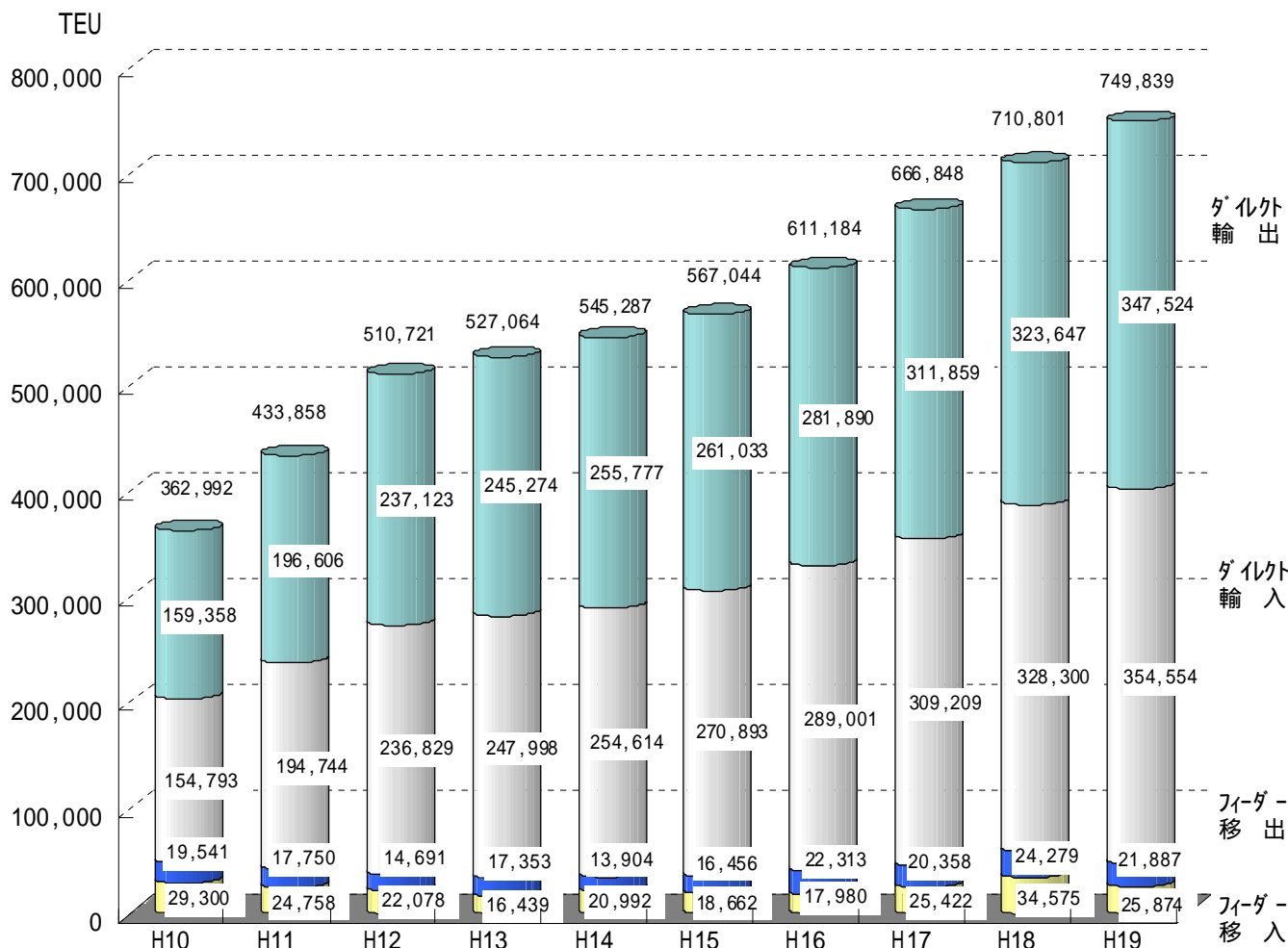


表 - 12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分	平成19年		平成18年		平成17年		平成16年		平成15年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	347,524	107.4%	323,647	103.8%	311,859	110.6%	281,890	108.0%	261,033
	輸入	354,554	108.0%	328,300	106.2%	309,209	107.0%	289,001	106.7%	270,893
	計	702,078	107.7%	651,947	105.0%	621,068	108.8%	570,891	107.3%	531,926
内国貿易 (フィーダー)	移出	21,887	90.1%	24,279	119.3%	20,358	91.2%	22,313	135.6%	16,456
	移入	25,874	74.8%	34,575	136.0%	25,422	141.4%	17,980	96.3%	18,662
	計	47,761	81.2%	58,854	128.6%	45,780	113.6%	40,293	114.7%	35,118
総数	輸移出	369,411	106.2%	347,926	104.7%	332,217	109.2%	304,203	109.6%	277,489
	輸移入	380,428	104.8%	362,875	108.4%	334,631	109.0%	306,981	106.0%	289,555
	計	749,839	105.5%	710,801	106.6%	666,848	109.1%	611,184	107.8%	567,044

実入コンテナと空コンテナの合計値。

4. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が 84.4 万人（前年比 112.2%）、内国航路は 127.7 万人（同 101.7%）となり、外内航あわせて 212.1 万人（同 105.6%）であった。 図 - 14、表 - 13 参照

図 - 14 船舶乗降人員の推移

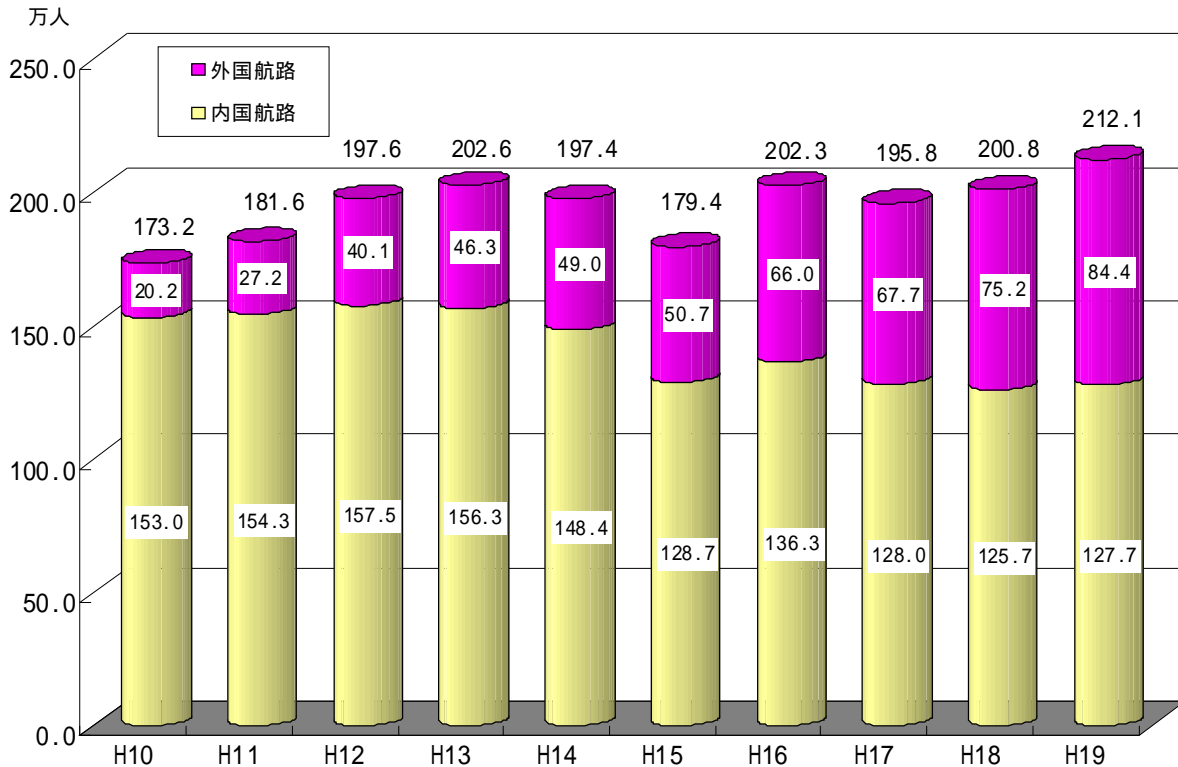


表 - 13 船舶乗降人員の推移

(単位：人)

区 分	平成19年		平成18年		平成17年		平成16年		平成15年	
	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	
外国航路	乗込人員	420,840	111.9%	376,251	111.3%	338,122	102.0%	331,465	129.7%	255,561
	上陸人員	422,814	112.6%	375,437	110.7%	339,263	103.3%	328,576	130.8%	251,178
	計	843,654	112.2%	751,688	111.0%	677,385	102.6%	660,041	130.3%	506,739
内国航路	乗込人員	656,296	101.9%	643,763	97.8%	658,509	94.1%	699,902	105.8%	661,309
	上陸人員	621,143	101.4%	612,814	98.5%	621,935	93.8%	663,177	105.9%	626,145
	計	1,277,439	101.7%	1,256,577	98.1%	1,280,444	93.9%	1,363,079	105.9%	1,287,454
総 計	乗込人員	1,077,136	105.6%	1,020,014	102.3%	996,631	96.6%	1,031,367	112.5%	916,870
	上陸人員	1,043,957	105.6%	988,251	102.8%	961,198	96.9%	991,753	113.0%	877,323
	計	2,121,093	105.6%	2,008,265	102.6%	1,957,829	96.8%	2,023,120	112.8%	1,794,193